

海津木苑運営委員会（平成27年度12月期）

会議録

1. 日 時： 平成27年12月21日（月）15時00分 開会
2. 場 所： 古賀市海津木苑 会議室

3. 出席委員（11名）

委員長	結城 弘明	副委員長	清原 留夫
委員	智原 和子	委員	奴間 健司
委員	田中 英輔	委員	信國 武雄
委員	盛永 政則	委員	安武 品子
委員	安武 正一	委員	横田 昌宏
委員	渡 行弘		

4. 欠席委員（簗原委員、三好委員、長崎委員）

5. 傍聴者数（1名）

6. 事務局出席職員職氏名

市民部長	智原 弘文	環境課長	橘 勇治
海津木苑場長	伊東 孝廣	海津木苑係長	吉田 義昭
海津木苑職員	国本 勝喜		

7. 協議内容

- ① 会議録について
 - イ.10月期会議録
 - ロ.12月期会議録署名
- ② 海津木苑運営に関する実施状況
 - ・平成27年10月及び11月の処理状況について
- ③ 海津木苑臭気・騒音・振動測定について
 - ・第2回臭気等測定（11月19日（木））
 - 立会者 奴間委員・田中委員
- ④ 海津木苑施設等啓発について

イ.お母さんの社会見学	10月21日（水）	見学者	10名
ロ.海津木苑施設見学（青柳小学校4年生）	11月5日（木）	見学者	49名
ハ.海津木苑施設見学（新宮東小学校4年生）	11月6日（金）	見学者	155名
ニ.第31回まつり古賀 海津木苑施設啓発	11月15日（日）	来場者約	500名
ホ.海津木苑施設見学（古賀西小学校4年生）	11月25日（水）	見学者	62名

へ.いのち輝くまち☆こが 2015 第 1 分科会 (報告)

リーパスプラザ (大ホール)

12 月 6 日 (日)

参加者 154 名

⑤ 海津木苑将来構想策定について

8. その他

概要

15:00 開会

1. 古賀市あいさつ

2. 委員長あいさつ

3. 協議事項及び報告

① 会議録について

イ.10 月期会議録 資料.1 (事務局より説明)

ロ.12 月期会議録署名

[質疑・意見] なし

② 海津木苑運営に関する実施状況 資料.2 (事務局より説明)

・平成 27 年 10 月及び 11 月の処理状況について

[質疑・意見] なし

③ 海津木苑臭気・騒音・振動測定結果について 資料.3 (事務局より説明)

・第 2 回臭気等測定 (11 月 19 日 (木))

・立会者 奴間委員・田中委員

[報告]

委員 : 先日、鹿部区評議員会において内容については、定かではないが報告をいたします。美明地区において臭気がしたとの報告がありなぜかということで、伺ったところ一つは、その時にバキュームカーが横を通過した時の臭気、もう一つは、住宅建設に伴い設置されている簡易トイレからの臭気が考えられる。質疑ではありませんが、以上ご報告をしておきます。

④ 海津木苑施設等啓発について 資料.4 (事務局より説明)

イ. お母さんの社会見学

ロ. 海津木苑施設見学 (青柳小学校 4 年生)

ハ. 海津木苑施設見学 (新宮東小学校 4 年生)

ニ. 第 31 回まつり古賀 海津木苑施設啓発

ホ. 海津木苑施設見学 (古賀西小学校 4 年生)

へ. いのち輝くまち☆こが 2015 第 1 分科会 (報告)

リーパスプラザ (大ホール)

[質疑]

委員 : イ.のお母さんの社会見学についてどこで知って来られたのか伺いたい、もう一点は、二.の第31回まつり古賀における啓発内容等について、なぜ聞くかと言うと差別のばらまきになっては困りますので、内容について伺いたい。

[答弁]

海津木苑 場長 : イ.のお母さんの社会見学については、生涯学習推進課が主催で行なっている事業で、現在小学校4年生の子どもたちが、海津木苑供用開始以来施設見学に来て学習している事を、お母さん方にも知っていただくために生涯学習推進課が企画され、年1回施設見学にきております。

海津木苑 係長 : 二.のまつり古賀における啓発内容等については、施設処理工程についての啓発及び排育についての啓発を行いました。

⑤ 海津木苑将来構想策定について 資料.5 (事務局より説明)

[質疑]

副委員長 : 今、課長よりバイオマスについてはじめて海津木苑運営委員会に報告がありましたが、海津木苑を設置した状況の中でし尿が減り、海津木苑の存続について古賀市のほうで、将来構想の検討がされ、業者に委託し出来れば27年度いっぱいを目指して進んでいると思います。そのような状況で、十分ではないが地元鹿部区へ将来構想についての中間報告がされています。今回のバイオマス報告が市長公約ということで、新にでてきた形になり、二つの案となり、一方は、27年度いっぱいで将来構想策定がありますが、バイオマスとの関係はどのようになるのか

[答弁]

環境課長 : 当初委託契約については、海津木苑使用期限が平成34年度で切れることとなりますので、その後どうするか期限に対する委託が一つと、もう一つは、市長公約のバイオマス発電が出て、これとは切り離して何らかの関係が出てくるのでそのあたりが当初の委託契約の中に一つ組み込んできた。

[質疑]

副委員長 : 組み込んできた、新しく入ってきた事は理解しているのですね。その中で一方は発注して3月までに何らかの形で報告が出され、それとバイオマスが出てきて12月の議会で、議員がバイオマスについて触れ議論され、そういったことと関連があると思うのでお聞きします。どっちもつかずにならないか

[答弁]

市民部長 : 現状では、日環センターの方には平成35年以降の海津木苑の在り方についての委託契約であり、今回は経済産業省の外郭団体の補助メニューがあるということで申請を出し採択されたことにより、市長の公約でもありましたし、今回議会の中で

も叩いていただいた地方創生のまち・ひと・しごとの総合戦略の中にも記載をさせていただいているところです。現状としては、並行してそれぞれが検討している状況です。特にバイオマス発電の可能性につきましては、現在発電する材料があるのかという段階で調査をしている。当分の間は平行線という形になり、バイオマス発電の補助事業についても平成 27 年度いっぱいまで一定の方向性を出していただくこととなります。し尿処理場の将来構想とバイオマス発電の可能性については、28 年度以降調査研究をしていく中で、リンクするものか、しないものかについて判断をしていくスケジュールになります。

[質疑]

副委員長 : 海津木苑の将来構想については、27 年度に発注をして 3 月末に何らかの形でその結論が、私は出ると思います。そういった意味で鹿部区にも結果がでなくても中間報告として十分ではないが、報告をおこなっている。その結論が 3 月末に出るのか解りませんが、本来なら出ると思います。一方、バイオマスは、市の方が申請をして並行して検討するというので、将来構想の方は、一応中止してバイオマスと一緒に検討されるのか発注している将来構想はどうなるのか。

[答弁]

環境課長 : 今回の発注の分で 3 月まで何が出来るのかということで、先ほど申しましたとおり大きく三つの可能性があり、さらに細分化され三つ以上になると思います。三つ以上の検討資料を出して実現性があるか経済性も含め内部で検討し、中間報告として地元の説明を予定しております。

[質疑]

委員 : この資料で私が感じたのは、この運営委員会に新エネルギー導入促進協議会の問題が出るということは、し尿処理の問題と密接な関係があるからこの資料及び説明がされていると理解しています。バイオマスの問題と、し尿処理これも同一的に私は考えました。今日この資料を出されたのは、し尿処理の問題と関連があるから出されたのでは、そう理解していますが間違っていますか。

[答弁]

環境課長 : バイオマスにつきましては、他の自治体ではし尿を利用しているということで、可能性がある場合が将来的に選択肢の一つになる。

[質疑]

委員 : 関係があるということで理解してよろしいですか

[答弁]

市民部長 : 関係があるかないか含めて可能性の調査を行ない、一定のエリアを決め今回食品加工団地の食品残渣とか、加工団地周辺をエリアとして、し尿もバイオマス発電に

大きな効果をもたらすということもありますので、その可能性についても調査を行なう。そういったエリアをこの周辺ということで考えておりますので、運営委員会の方には、このような補助メニューで可能性の調査を行なっている報告をするべきと考え、今回資料の提出をさせていただいております。

[意見]

委員 : 加工団地内で発生する残渣からバイオマス発電をとということで、地元としてはこの場所で継続して運転するのかと思っております。出来る限り本委員会には、今後情報開示をしていただきたい。

[質疑]

委員 : 個人としての意見ですが、先ほど課長が説明された継続または廃止で考える今、バイオマス発電の一部利用する方向性の三択で、検討するという捉え方でいいのか。

[答弁]

環境課長 : 現時点での一部利用については、バイオマスと切り離れたところで検討しております。

[要望]

委員 : 関連して先ほどの市長公約もしくは、地方創生で補助金によりバイオマスの検討をしているが、心配しているのが、補助金が付いたからバイオマス発電に関連して進めるのか、今までの海津木苑の形また経緯があり、そこが委員としては心配している。検討については、はっきり分けた形で進め、情報開示については今後も随時行なっていただきたい。

[質疑]

委員 : 将来構想については、今年度中に選択肢を挙げてメリット、デメリットを出し、来年度選択肢を精査し、中間報告として地元並びに運営委員会に報告することを前回確認しています。三つの選択肢を言っていたが、選択肢の中で現実的に可能性が高いもの、あるいは将来的に有効であるものといったようなスタンスはないのか。

[答弁]

環境課長 : パターンとすれば説明のとおりですが、それぞれ検討し、継続するのであれば長寿命化が可能なのか、廃止した場合どこで処理をするのか、一部利用についてもどこまでなのかと、いろんなケースがあり、そのあたりを抽出している報告です。

[質疑]

委員 : 新に報告していただいたバイオマス発電の件で、海津木苑の将来構想の委託費は、古賀市の予算で、バイオマスについては、民間が申請者で古賀市が共同で 1,000 万

円という補助で、古賀市は一切予算を使っていないので、この扱いを委員会で詳しく聞き、結果を公表するのもしないのかそのような経過があったが、今回この運営委員会に出された以上は、来年3月には成果物が出て、中身については4月になると思うが、結果については議会並びに運営委員会に報告されるものと思うが、間違いないか、今日このように報告があったので結果についても同様に、この運営委員会に報告されるということで理解していいか。

[答弁]

市民部長 : 何らかの形で成果物として出てくると思います。公開につきましては、バイオマスの協議会を立ち上げており慎重審議されるものと思います。

[質疑]

委員 : 議会でも正式に市長が発言されているのは、食品加工団地から出る食品残渣、し尿の考えがあり、将来的には家庭の生ごみも考えているこの計画でいくと、清掃工場でも焼却する量も減るので私自身歓迎しています。海津木苑の廃止、継続、一部利用というよりも、代替措置というか総合的な活用と言う意味では、予算は一切使っていないが、今日報告いただいたバイオマス発電の研究の成果が総合的な古賀市の方向性を示してくれるものと思いますので、それに基づいて来年度海津木苑のあり方も、来年の3月末なのか4月の運営委員会において、議会では所管の委員会か協議会か何らかの成果報告をすべきと考えますので申し上げます。

[答弁]

市民部長 : 先ほど申し上げたとおり協議会を立ち上げており、そこで慎重審議いたしまして、公表という形になるとは思いますが、相当の議論は必要と考えておりますので、それでご理解をいただきたいと思っております。

4. その他

[意見] なし

15:55 閉会

※ 次回の運営委員会は、2月を予定しております。

以上

この会議録が正確であることを証明するため会議録署名人次に署名捺印する。

平成 28 年 / 月 13 日

委員長

信 城 弘 明



委員長の指名する

出席委員

信 國 武 雄

